

館報

# おみ

7月号  
No.676

2023. 7.25 (令和5年) 編集と発行 / 長野県東筑摩郡麻績村公民館  
TEL 0263-67-2240



▲麻績村11番目のホームタウンに～麻績村・松本山雅ホームタウン調印式～（7月14日撮影）

## 麻績村から全国大会 北信越大会へ

七月二十日麻績村役場に『スポーツ選手激励会』が行われました。

「全国高等学校総合体育大会陸上競技選手権大会（北海道）」にハンマー投げで出場する高校三年生刈間拓己君（坊平）、「全日本少年少女空手道選手権大会（東京都）」に小学三年生男子、型および組手に出場する黒岩昇矢君（宮本）、「小・中学生全国空手道選手権大会（福岡県）」の小学三年生男子組手と「北信越地区空手道選手権大会（石川県）」の小学三年生男子組手に出場する宮下桜巳都君（中町）、同じく北信越大会に出場する小学三年生男子組手中村聡太君（上町）、小学四年生型瀬戸朝斗君（本町）、小学六年生女子組手宮下結愛さん（丸山）の六名の選手の皆さんが来庁されました。

加瀬教育長から選手皆さんの紹介があり、塚原村長より、各大会での活躍と、



▲皆さんの活躍を期待します

更に今後の活躍に期待を込めた、激励がありました。

高校生の刈間拓己君のハンマー投げとの出会いは、お兄さんが高校生の時に砲丸投げをやっていたことがきっかけとなり、陸上競技に興味を持ったとのこと。

大会に近い現在はベストコンディションに仕上がってきているそうで、「麻績村や長野県を代表していることを念頭に置きながら、自分の持っている力を出し切って、全国の強豪の中でも頑張りたい」と力強いコメントがありました。日頃の練習と筋トレで鍛えられた

身体や腕からも、頼もしさを感じました。

小学生の空手選手の皆さんも「初めての大会だけど頑張りたい」と塚原村長にそれぞれ意気込みを伝えました。大会での活躍と結果報告が楽しみです。

## マンパワーで時短 四年ぶりの飾り付け

七月二十二日おみ図書館プレイルームにて聖アートエキシビジョンの展示作業が行われました。昨年まではコロナ禍のため少人数で五時間ほどかかっていた作業でしたが、今年度は総勢十五名で百点ほどの作品を二時間で飾り終えることができました。

十回目を数えるエキシビジョンに初回から参加しているのが筑北中芸術部ですが、飾りは四年ぶりという事で全員初参加。初めての作業にとまどいながらも、見やすいように工夫して飾っていました。部長で三年生の丸山柊佳さんは「毎日美術室で活動している成果を村の皆さんに見ていただ

けるのはとてもうれしい」と話していました。また、部員たちが「すごい！」と感嘆していたのが社会人になっていく先輩たちの作品。今回の作業には県内外から三人が集まることで、互いに近況報告をしながら展示作業をしていました。

## 活気あふれる 麻績神明宮祇園祭

七月二十三日麻績神明宮の祇園祭が、出店や一般の方を招いて三年ぶりに開催されました。当日は好天に恵まれ、多くの方が久しぶりの祇園祭を楽しんでいました。



▲熱気が伝わる祇園祭



筑北中学校の一年生が聖山に登った。子ども達が地元山に登るのは、何年振りなのだろう。

私の時代は、小学校五・六年生の遠足で、四阿屋山・冠着山・聖山の筑北三山に登り、中学校では北アルプスの燕岳に登るのが恒例だった。

よほど山に慣れている人でなければ、大人になって頻繁に登山する人は少ないと思う。だからこそ地元山に登らせてもらえたことがとても貴重な体験で感謝している。今でも四阿屋山の上が苦しかったこと。燕岳の雲海はともよく覚えていてる。

集団登山は周りの準備がとて大変である。今回も一緒に登ったボランティアさんの他に、道を整備してくれたり、下見に行かれた方々が裏方にいる。

八月十一日は山の日。登れることに感謝し地元山を楽しんで欲しいと思う。

皮膚トラブルにご用心  
（記念講演会開催）

信州大学医学部と麻績村の地域連携協定に基づく記念講演会が、七月一日に地域交流センターで行われました。講師に、医学部長・皮膚科学教室教授の奥山隆平先生をお迎えし、「皮膚の病気とスキンケア」をテーマに講演をいただきました。

湿疹にはいろいろな種類があり、できる原因は一つではなく、はつきりしないことも多いということでした。湿疹は、まず、「かゆ



▲まず症状を観察しましょう

み」があるかがポイントで、かゆみがあり、湿疹の赤い部分の境界が、水彩絵の具がにじんだように不明瞭で、できている湿疹の大きさや形などの種類がいろいろに入り混じっている場合は、市販薬を使ってもよい湿疹だそうです。

また、高齢になってから出てくる、「乾皮症性湿疹」には保湿剤を利用しましょうとお話しされていました。

更に、注意が必要な湿疹として、「悪性黒色腫」という病気で、湿疹の大きさ・形・色のにじみ具合が変化する、大きさ7mm以上の色素斑には注意が必要ということでした。スライドでは、黒く茶色の湿疹の様子が映されていました。講演後、会場から、紫外線対策について出された質問には、紫外線が強くなる、二〜三月は特に注意が必要ということとで、注意する時季が、日差しが強い夏ではなかったことが印象的でした。当日は約九〇名の参加者があり、熱心に耳を傾けていました。

OMIGOTO  
おみごと  
ギャラリー  
Gallery

坊平 葦沢英一さん

麻績のあれこれ  
自費製作のかるたに

「仕事をやめたからヒマになってね、空いた時間に作ってみたのさ」はにかみながら語る英一さん。長年経営して来た石材店を息子さんに引き継いだ後、ふるさと麻績村をかるたにまとめ始めま



▲かるたの原稿と葦沢さん

した。読み句はどれも軽快な五七五。俳句をやらせてたのですか？ の問いに「いやいや、無い無い」さらに驚かされるのは内容です。名所・旧跡はもちろん、時代の流れや暮らしの変化。昔は良かったけど今だっていいぞと、村の隅々まで配られた目線はとても多彩で、一人で書いたとは思えないほどですが、「全部自分で書いたよ、友達に意見はもらったけどね」とのこと。

つながった縁と  
伝えたい思い

「読み札はできたんだが、

絵がかける人を知らなくてね」そこで英一さんが相談したのはおみ図書館でした。「市野川の久保田優子さんはどうでしょうか？」図書館がつかないで縁で絵札も仕上がりが、五十セットの「麻績かるた」ができあがりしました。「みんなに遊んでもらいたい」と図書館をはじめ、村内公共機関に寄贈されていますので、機会がありましたら手に取って読んでみて下さい。麻績村をより深く知ることができ、英一さんのふるさとへの思いも伝わる事でしょう。



▲できあがったかるた

## 麻績小学校

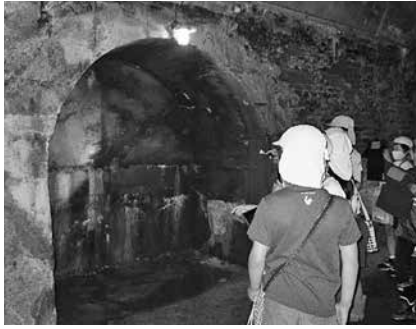
## 四年生社会科見学

四年生では、社会科で篠ノ井線について学習し、現在は廃線となっている明科の三五山トンネル、漆久保トンネルを見学してきました。昔のトンネルがほぼそのまま残っており、中も歩いて通れるため、探検に來たみたいでウキウキの子どもたちでした。見学は当時の

# 元気通信!!

## ～今月の小・中学校～

のトンネル工事の大変さや学ぶために行きましたが、「これだけ長いトンネルを人が掘ったの?」「壁はレンガでできているね」などと、よく見えてよく考えながら、メモをとったり写真を撮ったりしました。帰ってきてからの授業では、調



▲先人の苦勞があって今がある

べて分かったことや見学で分かった情報をもとに、タブレットでまとめていきました。事前に、麻績村に鉄道を通すことに貢献した人物「藤原喜之作」について学んでいた子どもたちは、「喜之作さんがいてくれて良かった」「喜之作さんが頑張ってくれたから篠ノ井線がある」と感謝していました。

## 筑北中学校

## 聖山登山

七月十九日筑北中学校の一年生が聖山へ登山に行きました。

ふるさと学習として、村内各地を訪れ、麻績村の歴史や重要文化財、観光について学習しています。そんな学習の一つとして聖山の自然に触れ、地域の方とも交流を深めながら麻績村の新たな魅力発見に出發しました。

事前にボランティア参加



▲さあ！出発

の呼びかけをしたところ地域ボランティアの皆さんの協力を得ることが出来ました。

坊平の登山口から山頂を目指し、道中はボランティアの方から説明を聞くなどしながら歩を進めました。当日は曇り空で湿度が高く大変でしたが山頂へ着くと今までの苦勞が吹き飛んでいました。

聖山登山の後は聖博物館や聖湖周辺へ向かいました。今回の学習の成果はまとめを行い今後発表する予定になっています。

## 筑北中学校生徒会通信

筑北中学校の生徒会通信を村ホームページからダウンロードできるようにしました。左記URLからご覧ください。

<https://www.vill.omi.nagano.jp/kurashi/kyoiku/kyoiku1130.html>

※今月号五面に掲載の生徒会通信は誌面の関係上ダイジェスト版になります。

## (掲載内容)

・ 四月号  
「ご入学、後進級おめでとうございます」

・ 五月号  
「第一回生徒総会ほか」

・ 六月号  
「中体連、第六十六回筑北祭に向け」

・ 七月号  
「筑北祭百日前イベント」

## 生徒会通信 7月



### 筑北祭100日前イベント

6月22日(木)に行われた筑北祭100日前イベントでは、筑北祭サブテーマの発表・ステージバック案のアンケートの説明、生徒会企画「筑中有名人」参加募集の説明が行われました。会員全員が、それぞれの役割を把握し協力し合いながら準備を進め、「革新」の筑北祭を創っていきましょう。

第66回筑北祭テーマ

# 革新

「新たな時代を切り拓け」



初代「筑中ソーラン」

筑北祭サブテーマのアンケートの結果から、サブテーマは「新たな時代を切り拓け」に決定しました。この「新たな時代を切り拓け」のサブテーマには、コロナが緩和され、やりたいことや新しいことができるようになった今、「自分たちが行動し、新たな時代を創りだしていこう」という願いが込められています。その願いのように、新しいことに挑戦しながら、全会員と筑北祭を創り上げていきたいと思います。

生徒会長 平田 瑛路

### 「筑中ソーラン」の原点を探る

一色 保典先生 滝澤 健太先生 へのインタビュー

7月5日(水)に、現在のような全校生徒での「筑中ソーラン」が始まったきっかけや様子など、当時筑北中学校3学年を担当していらっしやった一色保典先生(上田第二中学校の校長先生)に、また7月7日(金)には、始まりから4年後に筑北中学校を卒業された、滝澤健太先生(生坂小にご勤務)にお越しいただき「筑中ソーラン」についてお話を伺いました。そこでお聞きした「筑中ソーランの歴史」について、一色保典先生のお話を中心にお届けします。

現在のような全校生徒での「筑中ソーラン」の始まりは平成21年でした。当時は1クラス40人ほど、全校生徒は約120人いたそうです。「筑北中学校の学校目標である、『心豊かに 逞しく』の『逞しく』が、生徒たちにまだ足りないのでは」と考えた一色先生は、「よさこいソーラン」の躍動感・逞しさを筑中生にも感じてもらいたいと思い、生徒会に挑戦をしてみないかと提案をしたそうです。生徒会メンバーは「やってみましょう」と、まず3年生が先頭をきってソーラン練習をスタートしました。練習の輪は全校に広がり夏休み中も有志で練習を行っていたところ、「サマーナイトフェスティバルに出てみない？」というお誘いがあり、まだ十分な演舞ではなかったですが、会員が一生懸命に声を出しながら踊る姿は、その場にいた後輩や、地域の方の心を動かしたそうです。踊っていた生徒たちも、大きな達成感を感じ、やがて1、2年生も加わり、練習にも熱が入っていったそうです。全校が1つになる本気の「筑中ソーラン」を目指し練習を重ね、迎えた筑北祭当日、雨上がりの校庭を泥だらけになりながら、力強い演舞を踊ったそうです。演舞が終わると、生徒たちは、仲間とやりきった満足感と感動で涙を流した人もいたそうです。一色先生は「その姿は筑中生の『逞しさ』そのものだった」とおっしゃっていました。

平成25年度卒業生である滝澤先生は、「先輩達がかっこよかった。率先して声を出し、引っ張っていた。」と、当時の「筑中ソーラン」への熱さを語ってくださいました。そして、私たち後輩に「コロナだから、コロナだったからと言うのではなく、新しく挑戦して行ってほしい。」とメッセージをくださいました。

お2人のお話を、11日(火)の「ソーラン集会」で紹介し、新たに今年の「筑中ソーラン」への思いを全員で確認しました。

### 合言葉は「己の全力」

「全力」の姿を、正副隊長を中心に、これから追い求めていきます。

## 麻績御厨の鎌倉殿

(その七)

## 鎌倉時代の文化遺産

麻績村には鎌倉時代の仏像、御正体、石塔、文書等の文化遺産がある。国・県・村の宝として指定され、全国的にも稀な「麻績御厨の鎌倉殿」伊賀氏に関わる遺産もある。

## ○「麻績神明宮」

懸仏（御正体） 大日如来金剛界・胎藏界の二仏、薬師如来一仏（残闕）が奉獻されている。それぞれ別個のもので、鏡は亡失してしまっているが貴重な遺例である。

## ○「上野山海善寺」

多宝塔・五輪塔 この二基は麻績城主服部左衛門清信の供養塔との伝承である。上田市常楽寺の多宝塔（国指定重要文化財）に類似しており、鎌倉時代の石造文化が麻績御厨に及んだ遺例とみられ、塩田北条氏との関わりがうかがえる。承久の乱後新補地頭として補任された伊賀氏一族の造立説

が濃厚である。

## ○「仏眼山法善寺」

木造阿弥陀如来坐像 像高四十五・五cm。定朝様式を残す量感ある仏像である。

## ○「高丈六堂」

木造阿弥陀如来坐像 像高一三三・五cm 「さすらいの佛」「流転の仏像」「丈六様」の愛称がある。

筑北村坂井の安養寺・矢倉の大福寺（善導寺）・旧高村の飛地下井堀丈六堂を経て、明治二十二（一八八九）年高村虚空蔵堂に遷座される。

聖博物館の開館にあたり、昭和四十年六月五日より学術研究のため昭和四十二年九月三十日まで聖高原へ出向（年季奉公）している。

## ○「布光山醫王院福満寺」

木造日光・月光菩薩立像 鎌倉時代末、別項参照

木造金剛力士像 運慶様式に近い鎌倉期の仁王像を彷彿させる県内屈指の仁王像である。平成二十二年（二十三年）に解体修理が行われた。

木造天部立像（四天王）造立年代は、平安時代が二

体、鎌倉時代初期が一体、後期が一体である。

伊賀藤原時盛願文 永仁四（二一九）年、別項参照 この他鎌倉時代末期の五輪塔がある。

## おわりに

鎌倉幕府の創始者、源頼朝は、国に守護、郷や荘園に地頭を置いて統括した。

信濃守護は、塩田に北条氏鎌倉幕府と直結した麻績御厨の地頭は伊賀氏一族であった。

鎌倉時代から室町時代中頃まで、二・三の争乱はあったが、麻績御厨は平穩に推移した。地頭伊賀氏、建武の新政以後の飯野氏、両者の人脈が活躍した足跡が、麻績御厨八力条の歴史・文化遺産として残された。特に、前記の「伊賀藤原時盛願文」は、いづれ国の重要文化財に指定されるであろう稀有な史料である。

麻績町村は、東山道支道の駅が置かれ、伊勢神宮ゆかりの麻績神明宮が鎮座し、御厨八力条の中心地であったと推考されるが、地頭伊

賀氏の名が史料に無い。

この時代「守護不入」の地があった。院領はじめ、皇室・公家・寺社領等の地域内に守護が入り、租税の徴収・罪人の逮捕などをすることができなかった。これに準じて、麻績町村は「地頭不入」の条であったことが推考される。

後世の安土桃山時代・天正九（一五八〇）年伊勢神宮の御師宇治久家が記した「信濃国道者御被いくばり日記」に「オミ北条分」の記事がある。史学博士井原

今朝男氏は、福満寺に願文を献じた、伊賀藤原時盛が麻績御厨北条の地頭だと説く。安坂川（現麻績川）南の矢倉・野口と安坂・永井の四力条が矢倉の地頭伊賀光宗の係累で、麻績御厨の地頭は二人であったと推考されるが確証はない。

福満寺は、鎌倉時代の文化遺産を最も多く所蔵している。しかし、願文末尾の傷みが激しく、寺名・僧名の解読が不可能で寺名の史料がない。寺名の最も古い史料は、平安時代の応保

元（一一六一）年に造像された（伝）賓頭盧尊者座像

の陰刻名「歙山寺」である。この寺名については、歙山寺が福満寺になったのか、別に独立した歙山寺があったのか定かではない。

海善寺の多宝塔・五輪塔について、近年の史学説で鎌倉時代建立が濃厚である。しかし、被供養者・建立者は不明である等々の課題がある。新たな史料の発見に期待したい。

## 引用・参考文献（順不同）

中世の麻績御厨と伊賀氏の遺産、伊賀藤原時盛願文 県宝、諮問調査、麻績・日向・坂井・坂北・本城・大岡各村誌、麻績村石造文化財、麻績村の歴史遺産と文化財、麻績神明宮神社誌、紙芝居絵本、信濃史学会誌「信濃」、信濃毎日新聞、市民タイムス、月の館通信、長野県歴史人物大辞典、長野県歴史大年表、広辞苑、日本語大辞典、さすらいの佛丈六様の伝記

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸

# 本の森だより

み 図書館  
お 図

まちかどスケッチ  
受講生の作品展 開催



▲それぞれの作品を手に。後列  
右から二人目が田口先生

NHK文化センター松本  
教室の講座「わたし流！ま  
ちかどスケッチ」の受講生  
の皆さんと、講師の田口勝  
さんの作品展が開かれ、村  
内外から多くの方が鑑賞に  
訪れました。

山や田園、街並み、見覚  
えのある松本平や麻績村の  
風景画は、描かれた人々の  
会話が聞こえてくるかのよ  
うです。この展示のきつか  
けを作ってくださいだった小島  
正子さん（上町）の「ひや

読み語り講座 開催



▲お話を読んでもらうのはいく  
つになっても楽しいですね

っこ坂」もたいへん好評で  
した。

絵本専門士の谷口和恵さ  
んを講師にお迎えし、読み  
語りの基本や心得などをお  
話いただきました。

まず、講師による手遊  
び・素話（お話を暗記して  
語るもの）・絵本の読み語  
り、の三つから構成され  
た「ミニお話会」でスター  
トしました。そのあと、絵  
本の持ち方や声の出し方な  
どの技術的なこと、年齢別  
の選書の仕方や、ボランテ

ィアとしての心得について、  
とお話は進んでいきました。  
ボランティアの心得では  
「相手の時間をいただいて  
いるということを忘れずに、  
責任感を持って活動を」と、  
しっかり準備する大切さを  
説かれました。

参加者からは「素話にと  
ても感動した。ぜひ自分で  
も挑戦してみたい」「お話  
が心に沁み込みやすい幼児  
期に、たくさんのお話を読  
んであげたい」「ちよつと  
した小道具で、お話がぐん  
と伝わりやすくなる。とて  
も参考になった」と感想を  
いただきました。

限られた時間ではありまし  
たが、豊富な内容とポイン  
トを押さえたお話で、充実  
した講座となりました。

## 聖アートエキシビション 開催中！

地域の方々の作品展、聖  
アートエキシビションは、  
今年が第十回となりました。  
今年も地域の方々、小中  
学生をはじめ、麻績を離れ  
た卒業生からも寄せられま  
した。二十七日（日）まで

の開催です。ぜひご覧くだ  
さい。別紙で作品紹介をし  
ています。

## 麻績小学校図書館だより

ALTのステイナ先生の  
発案で、英語の本にも興味  
をもち、気軽に手に取って  
みてほしいという願いのも  
と、『リトル・フリー・ラ  
イブラリー』（自由な小さ  
い本棚）という本棚を中学  
校の先生に作成していただ  
き、小学校の図書委員さん



▲本棚にペイントする図書委員た  
ち。きれいに塗らなくちゃね



▲ステイナ先生、これ何て書いて  
あるの？

に、色を付けてもらいまし  
た。そして、英語の本をた  
くさん入れました。

これは、二〇〇九年にア  
メリカで始まり、今では一  
〇〇か国以上に広まっている  
ものです。だれでも、い  
つでも自由に借りられ、強  
制ではなくだれかとシェア  
したい本があれば、寄贈し  
て置いていくというシステ  
ムになっており、気軽に読  
書に親しめ、交流の場にも  
なっているそうです。

残念ながら、今回入った  
本は、図書館の本なので返  
却してもらいますが、身近  
な所にこんなかわいらしい  
本棚があったら、手に取っ  
て読んでみたくありませんね  
本もカラフルで、絵を見  
ているだけでも楽しいです。  
高学年だけでなく、低学  
年も親子でぜひ読んでみて  
ください。

## みんなそでてる 7月のおみ図書館

6月貸し出し数	
貸出冊数一般	835冊
貸出冊数児童	1283冊
来館者数一般	395人
来館者数児童	997人



**麻績消防署からの  
お知らせ**

九月九日は、九（きゅう）と九（きゅう）の語呂合わせから救急の日と言われている、急に病気になる人やケガをした人に対し、急場の手当てをするこゝとを「救急」と言います。救えるはずの命を救うためには、一刻も早い「応急手当」と「医療機関での治療」が重要となります。本人や周りにいる方が「普段と様子が違う、すぐに病院を受診したほうが良い」と判断された場合は、迷わず一一九番通報を行ってください。また、通報後は救急隊が到着するまでの間、応急手当をお願いします。救急車は一一九番通報を

受け現場に最も近い車両が出勤しますが、緊急性のない救急車利用が増える、消防署にいるはずの救急車が不在となり、別の消防署から出勤するため、救急車の現場到着までの時間が遅くなります。救急車を本当に必要な人が必要な時に使えるように救急車の適正利用をお願いします。また、消防署で応急手当の講習会を実施しておりますので、お問い合わせください。

○お問い合わせ先  
麻績消防署

電話 六七・二九九二

**住宅防火・防災  
キャンペーン**

（実施期間九月一日～九月二十一日）

近年の住宅火災における死者のうち、約七割が六十五歳以上の高齢者となっています。高齢化とともに、高齢者の住宅火災における死者の増加が懸念されています。そのため、火災を「起こさない」「早く知る！」「早く消す！」「拡大を防止する！」ことが重

要になってきます。高齢者が火災の被害に遭わないように、九月十八日の敬老の日には、住宅用火災警報器の作動確認や寝たばこ防止・ガスコンロ等の適切な使用を呼びかけて、安心・安全をプレゼントしましょう。また、住宅用火災警報器の電池は、寿命が約一〇年です。この機会に点検をしてみてください。

**三年ぶりの開催！  
ふくしのつどい  
開催のお知らせ**

新型コロナウイルス感染症流行のため中止していた「ふくしのつどい」今年三年ぶりの開催です。

**○開催日時**

令和五年八月二十七日  
（日）午後一時三〇分～

**○会場**

麻績村地域交流センター

日頃デイサービスで行っているオンラインレクリエーションやニュースポーツの体験をして「姿勢測定」など健康増進関連のコーナ

ーや各種団体活動の紹介コーナーなどお楽しみがいっぱい。普段あまり目にしない、福祉車輛や災害準備品の展示も予定しています。ぜひ、お出かけいただき楽しく体験してください。  
メインテーマは「ふつうのくらしのしあわせをみつめよう」



▲多くの皆様のご参加お待ちしております

皆様のご来場を心からお待ちしております。

※詳細は、社協報・チラシ折り込み等でお知らせします。

**○お問い合わせ先**

麻績村社会福祉協議会  
電話 六七・三〇九九

**村のあこしち**

お誕生おめでとう



柳原 早砂ちゃん  
賢太郎・亜里沙  
（叶里）



堤 樹里ちゃん  
純一・香保里  
（半在家）



佐藤 陽菜ちゃん  
将志・綾香  
（天王）

**ご冥福を祈る**

久保田徳子 82歳 市野川  
細川富美子 92歳 下井堀